

# ウイルス 流行パターン



先生のご紹介

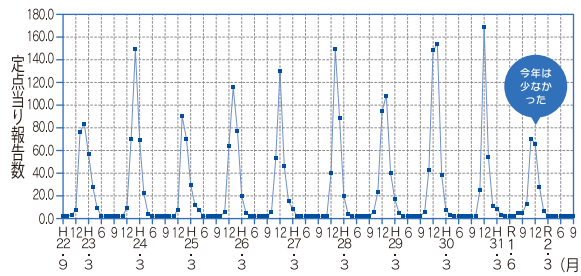
大坪修介

大坪こどもクリニック 院長

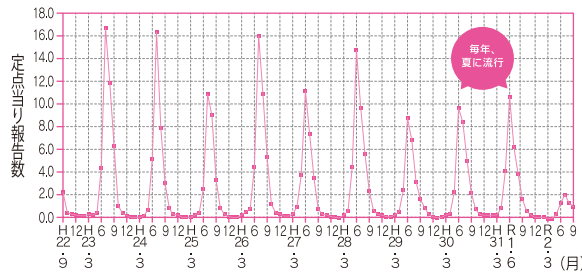
PROFILE

熊本大学卒。卒業後鹿児島大学小児科入局。小児科・小児神経専門医。医学博士。鹿児島大学医学部臨床教授。一人ひとりを大切に、誠意をもって診療を心がけています。

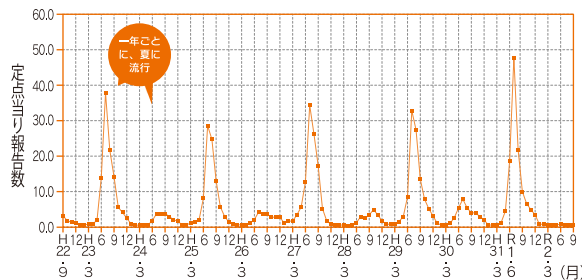
インフルエンザの推移



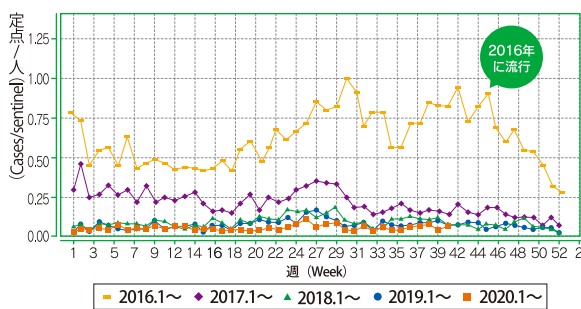
ヘルパンギーナの推移



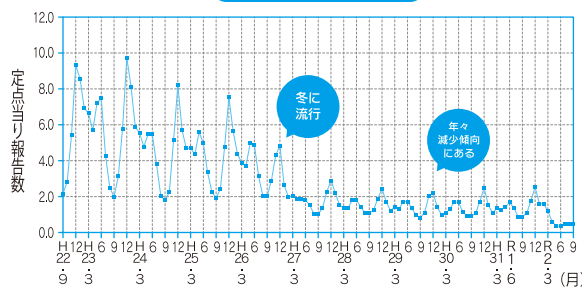
手足口病の推移



おたふくかぜの1年間の推移



水ぼうそうの推移



## インフルエンザ推移

毎年きれいに決まった時期に流行しています。十二月末から二月にかけてでしょうか。今年は山が小さかったのがわかります。ウイルスには飛沫感染しやすい温度や湿度があると言われています。熱帯や亜熱帯でもインフルエンザの流行はあります。雨期に多いと言われ人々が外に出ないため接触感染し山を作るのだそうです。同じウイルスでも流行の原因は違ったりするので面白いですね。

## ヘルパンギーナ推移

夏かぜと言われるだけ合ってきれいに夏に流行しています。インフルエンザと違い夏が好きなのでしょう。

## 手足口病推移

次は手足口病です、同じ夏風邪ですが、あれ、と思いませんか。きれいに一年ごとの流行です。必ずしも夏が好きという訳ではなさそうです。

## おたふくかぜの推移

他のグラフと違って、一年間の推移です。一年中同じようにみられています。2016年がやけに多く流行したのがわかります。特に流行する年があるようです。

## 水痘の推移

予防接種が定期接種になり、殆どの子どもが受けるようになって順調に減っていることがわかります。このようにウイルスの流行にはいろ

いろなパターンがあります。ウイルス側の要因として広がりやすい気候があるでしょうし、私たち人間側の社会生活における行動パターンや、特定ウイルスに対する集団免疫の状態、生活環境や食事内容の季節変化、さらには生活基盤となる社会経済的要因などが複雑に絡み合った結果と思われる。一般にコロナウイルスは冬に流行すると言われますが、マスク・手洗いの励行、三密を避けるウイズコロナ、アフターコロナでは、これらさまざまなウイルスを巻き込んでどう流行が変化していくのかが大変興味のあるところです。

\* 東京都感染症情報センター  
\* 鳥根県感染症情報センター



otsubo.org

## 大坪こどもクリニック 日・祝日 休診

時	朝	昼	夕	〒890-0034
月	○	健・予	○	鹿児島市田上2-15-11
火	○	健・予	○	TEL.099-286-6121
水	○	×	○	FAX.099-286-6127
木	○	健・予	○	※日曜・祝日休診
金	○	健・予	×	
土	○	健・予	×	

